

金石町商店協同組合設立 60 周年記念事業 かないわ商店街ギャラリー／かないわ香箱ヌーヴォー

日 時	平成 25 年 11 月 5 日(火)～20 日(水)
場 所	かないわ商店街
実施体	主催:金石町商店協同組合 協力:金石町小学校(商店街ギャラリー) 協力:金沢海産物ブランド化推進協議会(香箱ヌーヴォー)

金石はかつて北前船の寄港地として栄え、銭屋五兵衛に代表される商人たちが活躍した港町。今も漁業に携わる人々が多く暮らしています。この町の商店街、金石町商店協同組合が設立 60 周年を迎え、「地域商店街活性化事業」の補助を受けて記念事業を実施しました。

事業のトップを切って実施されたのが「かないわ商店街ギャラリー」です。これは金石町小学校の児童が写生会で描いた絵を、約 2 週間にわたって組合加盟店・協力店の店内で展示するというもの。商店街と地域住民との交流を促進し、より多くの人にお店の中に入ってもらうという取り組みです。25 店舗ある加盟店と 8 店舗の協力店の各店内に、児童が描いた静物画、風景画、人物画が飾られ、普段とは一味違うお店の雰囲気を作り出していました。

11 月 9 日(土)には、商店街近くの特設会場にて「かないわ香箱ヌーヴォー」が開催されました。「かないわ香箱」とは、金石港沖で獲れるコウバコガニ(メスのズワイガニ)のことで、金石はこのカニを地元のブランド品として売り出しています。当日は解禁になったばかりの「かないわ香箱」を販売するほか、800 杯のカニ汁が 1 杯 100 円で提供されました。これが順番待ちの長い行列ができるほどの人気振り！アツアツのカニ汁を手にした人々は、元は船小屋だった建物の中に用意された食堂で旬を味わっていました。

記念事業ではこのほかにも、元禄から現代までの商店街の移り変わりを資料展示と講演で振り返る「かないわ商店街 今昔物語」や、例年より期間を長くした年末年始特売などを実施し、たくさんの人を呼び込んでいました。



店内に展示された児童の絵



カニ汁を求める人々の行列



どれにしようかな？



船小屋を利用した食堂